

第 2 期
千歳市子ども・子育て支援事業計画
＜令和 2 年度＞
実施状況等報告書

資料 1 教育・保育の整備等に関する実施状況 … P 4

資料 2 地域子ども・子育て支援事業の実施状況 … P 6

資料 3 幼児期の学校教育・保育の一体的提供及び推進体制の状況
「新・放課後子ども総合プラン」に基づく取組の状況 … P 10

資料 4 個別施策の指標の実施状況 … P 11

資料 5 全個別施策の実施状況 … P 12

第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について

1 趣旨

市は、子ども・子育て支援法（平成24年8月22日成立）及び次世代育成支援対策推進法（平成26年4月23日改正、令和7年3月31日までの時限立法）に基づき、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間とする「第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画」（以下「事業計画」という。）を策定しました。

事業計画の推進に当たっては、子ども・子育て支援法第60条に定める国の基本指針及び次世代育成支援対策推進法第8条第6項・第7項の規定において、各年度の実施状況やこれに係る費用の使途実績等について点検・評価を行い、公表することが義務付けられています。

本報告書は、事業計画の実施状況について施策ごとの点検及び評価を行い、必要に応じた対策を講じるため、毎年、前年度の実施状況報告としてまとめるものです。

2 計画に定めた施策の数

128 施策（再掲除く）

うち、指標（目標事業量）を掲げた施策数は18 施策となっています。

3 実施状況及び評価

（1）教育・保育の整備等に関する実施状況

評価・実施状況	A	B	C	D
施策数	3	0	0	0

上表の「評価・実施状況」は、A：達成・実施、B：達成に近い・大半を実施、C：未達成に近い・僅かに実施、D：未達成・未実施としています。（以下、同じ。）

保育ニーズは増加傾向が続いており、特に2号の利用者実数が前年度と比較すると大きく増えています。一方で、1号の利用者実数はその分減っており、共働きで働く家庭が増加していると考えられます。年度途中の利用希望増を含めて、待機児童が生じないよう、計画期間における各年度の利用者実数の状況を注視しながら、適切な措置を講じます。

（2）地域子ども・子育て支援事業の実施状況

評価・実施状況	A	B	C	D
施策数	12	0	0	0

全施策について、計画どおり実施しています。

（3）幼児期の学校教育・保育の一体的提供及び推進体制の状況

評価・実施状況	A	B	C	D
指標数	1	0	0	0

学校教育・保育の一体的提供等の状況については、これまで同様に既存施設に対して新制度への移行を促すことにより、令和2年度の認定こども園は15か所となっています。今後も、保育定員の需給状況を踏まえながら、既存の教育・保育施設（保育所・幼稚園）からの移行について、事業者との協議を進めます。

(4) 「新・放課後子ども総合プラン」に基づく取組の状況

評価・実施状況	A	B	C	D
指標数	0	0	0	1

「新・放課後子ども総合プラン」に基づく取組の状況については、新型コロナウイルス感染拡大により実施できませんでしたが、今後も実施に向けて取り組みを進めていく予定です。

(5) その他個別施策の指標の実施状況

目標を達成した指標	9指標
目標を未達成の指標	9指標

個別施策の目標値を設定した18指標のうち、9指標が目標を達成しています。目標を未達成の指標については、計画期間内の目標値達成に向けた必要な措置を講じます。

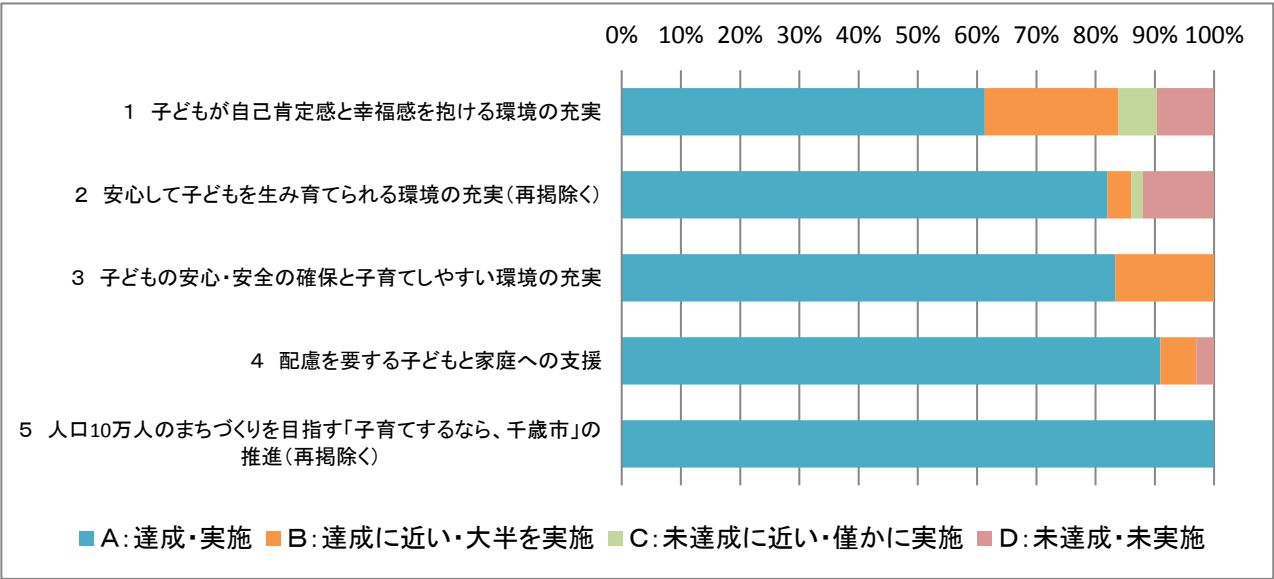
(6) 全個別施策の実施状況

評価・実施状況	A	B	C	D
施策数	102	13	3	10

128施策のうち、79.7%が「A達成・実施」となっています。新型コロナウイルス感染拡大により実施できなかった事業について「D未達成・未実施」とし、次年度に向けて感染防止対策を講じながら実施できる体制づくりに努めます。

4 全個別施策の実施状況一覧

基本目標	具体的施策数	実施状況			
		A	B	C	D
1 子どもが自己肯定感と幸福感を抱ける環境の充実	31	19	7	2	3
2 安心して子どもを生み育てられる環境の充実（再掲除く）	50	41	2	1	6
3 子どもの安心・安全の確保と子育てしやすい環境の充実	12	10	2	0	0
4 配慮を要する子どもと家庭への支援	33	30	2	0	1
5 人口10万人のまちづくりを目指す「子育てするなら、千歳市」の推進（再掲除く）	2	2	0	0	0
	128 (100.0%)	102 (79.7%)	13 (10.2%)	3 (2.3%)	10 (7.8%)



5 成果概要(総括)

子ども・子育て支援法に基づく事業計画の観点として、3(1)、(2)の評価どおり、施設及び事業の提供体制が確保された状況(保育所等の待機児童や、事業の利用ができない児童等がいない状況)にあります。また、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の観点としても、「A達成・実施している」施策の割合が79.7%であるなど、令和2年度の総括評価としては、「概ね計画どおり進捗している」ものといえます。

一方で、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とし、「D未達成・未実施」となった施策も多くあったことから、感染対策を講じながら、来年度に向けて実施方法を適宜検討します。

I 教育・保育の整備等に関する実施状況

i 1号認定こども(幼稚園・認定こども園での教育標準時間の利用)

			担当課	こども政策課			
○ 量の見込みと確保方策の総数及び現況数			(時点:各年4月1日現在／単位:人)				
地区	計画・実績	区分(細区分)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市内 全域	計画	量の見込み	1,729	1,691	1,656	1,635	1,625
		確保方策	1,769	1,724	1,690	1,653	1,692
		認定こども園(1号枠)	371	362	355	347	355
		幼稚園	1,027	1,000	980	959	982
		確認を受けない幼稚園	371	362	355	347	355
		過不足数	40	33	34	18	67
	実績	利用者実数	1,576				
		利用定員実数	1,900	0	0	0	0
		認定こども園(1号枠)	415				
		幼稚園	1,255				
		確認を受けない幼稚園	230				
		過不足数	324	0	0	0	0
	実施率	利用者実数／量の見込み	91.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		利用定員実数／確保方策	107.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

○ 分析と今後の対応方策

評価及び理由	A	利用実態に合わせ、適正に受け皿を確保しました。
取組内容	令和2年度は、認定こども園が2園増加しました。また、確認を受けない幼稚園1園が新制度へ移行し、利用者実数を十分に満たす1号認定子どもの定員実数を確保しています。	
課題など	新制度への移行を決定していない1か所の幼稚園について、引き続き認定こども園の普及促進を行っています。	

ii 2号認定こども(保育所、認定こども園での保育標準時間、保育短時間の利用)

			担当課	こども政策課			
○ 量の見込みと確保方策の総数及び現況数							(時点:各年4月1日現在／単位:人)
地区	計画・実績	区分(細区分)	令和2年度 3歳以上	令和3年度 3歳以上	令和4年度 3歳以上	令和5年度 3歳以上	令和6年度 3歳以上
市内 全域	計画	量の見込み	948	988	1,008	1,023	1,033
		確保方策	948	988	1,008	1,023	1,033
		認定こども園(2号枠)	822	862	882	897	907
		認可保育所	18	18	18	18	18
		認可外保育施設等(※)	94	94	94	94	94
		企業主導型(地域枠)	14	14	14	14	14
	実績	過不足数	0	0	0	0	0
		利用者実数	953				
		利用定員実数	945	0	0	0	0
		認定こども園(2号枠)	822				
		認可保育所	18				
		認可外保育施設等(※)	94				
		企業主導型(地域枠)	11				
		過不足数	-8	0	0	0	0
	実施率	利用者実数／量の見込み	100.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		利用定員実数／確保方策	99.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※「認可外保育施設等」とは、市や北海道が一定の施設及び運営の基準に基づき運営費支援等を行っている認可外保育施設や市直営の認可外保育施設をいい、それ以外の認可外保育施設は確保方策に含まないこととしている。

○ 分析と今後の対応方策

評価及び理由	A	計画に対する定員確保の実施率は99.7%(ほぼ達成)です。
取組内容	令和2年度は認定こども園が2園増加しました。また、1園が小規模保育事業所から認可保育所に移行しました。その他に、既存の施設で2号認定こどもの利用定員を拡大し、3号からの受け皿を確保し2号認定こどもの定員の確保に努めました。	
課題など	認定こども園については、弾力的運用により受け入れを行っていることから、今後も利用者実数の状況を注視しながら、適切に確保できるよう努めます。	

I 教育・保育の整備等に関する実施状況

iii 3号認定こども(保育所、認定こども園・地域型保育事業での保育標準時間、保育短時間の利用)

担当課	こども政策課
(時点:各年4月1日現在/単位:人)	

○ 量の見込みと確保方策の総数及び現況数

地区	計画・実績	区分(細区分)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
市内 全域	計画	量の見込み	156	664	161	679	164	686	164	691	164	691
		確保方策	156	664	161	679	164	686	164	691	164	691
		認定こども園(3号枠)	77	405	82	420	85	427	85	432	85	432
		認可保育所	17	67	17	67	17	67	17	67	17	67
		小規模保育	52	73	52	73	52	73	52	73	52	73
		事業所内保育(「労働者枠」除く)	0	17	0	17	0	17	0	17	0	17
		事業所内保育(「労働者枠」)	0	14	0	14	0	14	0	14	0	14
		家庭的保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		居宅訪問型保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		認可外保育施設等(※)	10	68	10	68	10	68	10	68	10	68
		企業主導型(地域枠)	0	20	0	20	0	20	0	20	0	20
		過不足数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	利用者実数	106	634								
		利用定員実数	158	665	0	0	0	0	0	0	0	0
		認定こども園(3号枠)	77	405								
		認可保育所	17	66								
		小規模保育	52	74								
		事業所内保育(「労働者枠」除く)	0	17								
		事業所内保育(「労働者枠」)	0	14								
		家庭的保育	0	0								
		居宅訪問型保育	0	0								
		認可外保育施設等(※)	10	68								
		企業主導型(地域枠)	2	21								
		過不足数	52	31	0	0	0	0	0	0	0	0
	実施率	利用者実数/量の見込み	67.9%	95.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		利用定員実数/確保方策	101.3%	100.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※「認可外保育施設等」とは、市や北海道が一定の施設及び運営の基準に基づき運営費支援等を行っている認可外保育施設や市直営の認可外保育施設をいい、それ以外の認可外保育施設は確保方策に含まないこととしている。

○ 分析と今後の対応方策

評価及び理由	A	利用実態に合わせ、適正に受け皿を確保しました。
取組内容	令和2年度は認定こども園が2園増加しました。利用者実数を満たす3号認定こどもの定員実数を確保しています。	
課題など	利用者実数の状況を注視しながら、適切に確保できるよう努めます。	

Ⅱ 地域子ども・子育て支援事業の実施状況

事業名	(1) 利用者支援事業						
取組内容	平成27年度から公立の子育て支援センター(ちとせっこセンター、げんきっこセンター)「ちとせ子育てコンシェルジュ」を2名ずつ配置し、ママサポートなど訪問型の相談支援も行っています。						
担当課	子育て総合支援センター						
計画・実績	区分	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画	確保方策(施設数)	箇所	10	10	11	11	11
実績	実施施設数	箇所	10				
実施率	確保方策(施設数)/実施施設数		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他事業の実態を示す数値	コンシェルジュ人員数	人	4				
	相談件数	件	960				
評価及び理由	A		計画どおり2か所に「ちとせ子育てコンシェルジュ」を配置していることに加え、「ちとせ版ネウボラ」を開始し、計画を超える事業を行っています。				
課題など	事業周知に係る普及啓発活動に努めます。						

事業名	(2) 地域子育て支援拠点事業							
取組内容	既存のちとせっこセンター、げんきっこセンター、アリスこどもセンターに加え8か所の児童館で地域子育て支援拠点事業(連携型)を実施し、全市的な事業展開を行っています。							
担当課	子育て総合支援センター							
計画・実績	区分	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画	量の見込み(一般型)	人回	55,500	55,668	56,220	55,800	55,896
		量の見込み(連携型)	人回	16,632	16,752	19,350	18,942	18,942
		確保方策(施設数)	箇所	11	11	12	12	12
	実績	延べ利用回数(一般型)	人回	18,887				
		延べ利用回数(連携型)	人回	14,010				
		実施施設数	箇所	11				
	実施率	延べ利用回数(一般型)／量の見込み		34.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		延べ利用回数(連携型)／量の見込み		84.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		実施施設数／確保方策		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他事業の実態を示す数値	つどの広場等利用者数	人日	31,649					
	子育て講座等利用者数	人日	1,481					
	子育て相談者数	人日	633					
評価及び理由	A	コロナ感染拡大防止のため予約制の利用となり人数に制限があり事業内容を検討して이었습니다。						
課題など	コロナ禍の中子育て世代が求めることに応えていきます。							

※「計画・実績」における、「計画」の量の見込みは、延べ利用回数の見込み量。単位の「人回」とは、月当たり延べ利用回数をいう。

※「その他事業の実態を示す数値」の人日とは、年間延べ人数をいう。

事業名	(3) 妊婦健康診査							
取組内容	妊婦が定期的に健康診査を受診することで安全に出産できるよう、1人の妊婦に「妊婦一般健康診査受診票」14枚、「超音波受診票」6枚の妊婦妊婦健康診査の助成を行います。							
担当課	母子保健課							
計画・実績	区分	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画	量の見込み(受診票配布数)	人	899	892	888	885	881	
	確保方策	一般健診	回	14	14	14	14	14
		超音波検査	回	6	6	6	6	6
		実施場所	受診票は全道医療機関で使用可能。道外の医療機関で受診した場合は、償還払いとして同額の助成を実施					
		実施時期	通年実施					
		実施体制	医療機関との委託契約					
	実施項目	国が定める基本的な妊婦健康診査項目						
実績	受診票配布実績	人	811					
	受診票 交付回数	一般健診	回	14				
		超音波検査	回	6				
	その他の確保方策の実施状況	実施場所	計画通り実施					
		実施時期	計画通り実施					
		実施体制	計画通り実施					
		実施項目	計画通り実施					
実施率	受診票		90.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	一般健診		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	超音波検査		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価及び理由	A		計画どおり実施(受診票配布)しています。					
課題など	妊婦一般健康診査を利用し、すべての妊婦が適切な時期や回数を受診できるよう、必要に応じ受診勧奨を実施します。							

Ⅱ 地域子ども・子育て支援事業の実施状況

事業名	(4) 乳児家庭全戸訪問事業「こんにちは赤ちゃん訪問」								
取組内容	保健師や助産師が新生児・乳児のいる全ての家庭に訪問し、新生児・乳児の発達や発育及び産婦の心身の健康状態の確認、母乳育児の推進や育児の情報提供を行います。								
担当課	母子保健課								
計画・実績	区分		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画	量の見込み(対象世帯)		件	772	762	761	759	755
		確保 方策	目標実施率		100%	100%	100%	100%	100%
			実施体制		市の助産師及び保健師による家庭訪問事業				
	実績	対象世帯		件	741				
		実施率			96%				
		実施体制			計画通り実施				
	実施率	対象世帯／量の見込み			96.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
実施率／確保方策			95.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
評価及び理由	A		長期里帰りや入院などの理由による未訪問者を含めた全数に対し状況を確認し、個々に合わせたケアや情報提供等に努めています。						
課題など	養育環境を含めた状況把握の必要性を鑑み、できるだけ家庭への訪問を早期に実施していきます。								

事業名	(5) 養育支援訪問事業等						
取組内容	健康状態や養育環境に問題を抱えた妊婦とその家族及び養育や乳幼児の発達などに問題を抱えた乳幼児とその家族に、訪問などの個別支援を行います。						
担当課	母子保健課						
計画・実績	区分	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(養育支援訪問)	件	191	193	196	191	192
	実施体制		市の保健師による養育支援訪問				
	養育支援訪問	件	231				
	実施体制		計画通り実施				
	実施率		120.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
評価及び理由	A		計画どおり実施しています。				
課題など	訪問支援に拒否的であったり、不在のため面接できない場合の対応や、関係機関との効果的な連携を検討する必要があります。						

事業名	(6) 子育て短期支援事業(ショートステイ)							
取組内容	育児疲れや保護者の病気、その他の理由により、一時的に子どもを養育することが困難になった家庭を支援するため、宿泊を伴う短期間(原則7日間まで)、子どもを児童養護施設において預かります。							
担当課	こども家庭課							
計画・実績	区分		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み		人日	24	24	24	24	24
	計画	確保	箇所	2	2	2	2	2
		実施箇所数 利用可能数	人日	100	100	100	100	100
	実績	利用者数	人日	18				
		実施箇所数	箇所	2				
		利用可能数	人日	100				
	実施率	利用者数/量の見込み		75%				
		実施箇所数/確保方策		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		利用可能数/確保方策		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	評価及び理由	A		家庭児童相談や関係機関において必要性の高い家庭に利用勧奨を進める等、効果的に計画どおり実施しています。				
課題など	2施設での受け入れが困難な状況が生じる場合は必要な措置を講じます。							

Ⅱ 地域子ども・子育て支援事業の実施状況

事業名	(7) 【小学生】ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業)								
取組内容	子どもの預かり等の援助を受けることを希望する方と、援助を行うことを希望する方が、相互に援助活動を行う場合の連絡、調整やアドバイスなどを行っています。								
担当課	こども政策課								
計画・実績	区分		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画	量の見込み (小学生)	低学年	人日	351	402	376	371	368	
		高学年	人日	325	314	351	325	325	
		計	人日	676	716	727	696	693	
	確保 方策	実施箇所数	箇所	1	1	1	1	1	
		利用可能数	人日	900	900	900	900	900	
実績	低学年		人日	336					
	高学年		人日	182					
	計		人日	518					
	実施箇所数		箇所	1					
	利用可能数		人日	900					
実施率	延べ利用数/量の見込み			76.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	実施箇所数／確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	利用可能数／確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価及び理由	A		市の保育サービスを補完する目的として計画通りに実施しています。						
課題など	特になし。今後も継続して実施します。								

事業名	(8)【在園児対象】一時預かり事業								
取組内容	一時預かり事業(幼稚園型)として、1号認定を受けた子どもでも、保護者の就労等の理由がある場合は、教育標準時間を超える施設利用ができる事業を実施しています。								
担当課	こども政策課								
計画・実績	区分		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画	量の見込み		人日	57,192	55,729	50,864	51,022	51,055
		確保方策	実施箇所数	箇所	23	23	23	23	23
			利用可能数	人日	57,192	55,729	50,864	51,022	51,055
	実績	延べ利用数		人日	47,340				
		実施箇所数		箇所	23				
		利用可能数		人日	57,192				
	実施率	延べ利用数/量の見込み			82.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		実施箇所数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		利用可能数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
評価及び理由	A		計画通りに実施しています。						
課題など	特になし。今後も継続して実施します。								

事業名	(9)【在園児以外】一時預かり事業(一般型)、ファミリー・サポート・センター事業									
取組内容	一時預かり事業(一般型)として、公立認定こども園2か所に加え、私立施設3か所で実施しています。ファミリー・サポート・センター事業は、登録会員数が増加傾向にあり、定期的な研修の実施により会員の質の向上に努めています。また、平成27年7月から、ひとり親家庭に対する利用料の助成を実施しています。									
担当課	こども政策課									
計画・実績	区分			単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	量の見込み			人日	5,643	5,729	5,613	5,519	5,515	
計画	確保 方策	一時預かり事業 (一般型)	実施箇所数	箇所	5	6	6	6	6	
			利用可能数	人日	5,105	5,834	5,834	5,834	5,834	
		ファミリー・サ ポート・セン ター(就学前児 童)	実施箇所数	箇所	1	1	1	1	1	
			利用可能数	人日	1,591	1,591	1,591	1,591	1,591	
			利用可能数計	人日	6,696	7,425	7,425	7,425	7,425	
実績	延べ利用数			人日	4,559					
	一時預かり事業 (一般型)	実施箇所数	箇所	5						
		利用可能数	人日	5,105						
	ファミリー・サポート・センター (就学前児童)	実施箇所数	箇所	1						
		利用可能数	人日	1,591						
利用可能数計			人日	6,696	0	0	0	0		
実施率	延べ利用数/量の見込み				80.8%					
	実施率 (一時預かり)	実施箇所数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		利用可能数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	実施率 (ファミリー・サ ポート・センター)	実施箇所数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		利用可能数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価及び理由	A			多様な保育ニーズに対応する事業として計画どおり実施しています。						
課題など	特になし。今後も継続して実施します。									

Ⅱ 地域子ども・子育て支援事業の実施状況

事業名		(10) 延長保育事業							
取組内容		一部、保育短時間認定に限る場合もありますが、地域型保育事業所を含め全園で延長保育事業を実施しています。							
担当課		こども政策課							
計画・実績		区分		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画	量の見込み		人日	22,603	22,829	23,057	22,827	22,599	
	確保 方策	実施箇所数	箇所	28	28	28	28	28	
		利用可能数	人日	22,603	22,829	23,057	22,827	22,599	
実績	利用者数		人日	21,600					
	実施箇所数		箇所	28					
	利用可能数		人日	22,603					
実施率	利用者数/量の見込み			95.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	実施箇所数／確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	利用可能数／確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価及び理由		A		計画通りに実施しています。					
課題など		特になし。今後も継続して実施します。							

事業名	(11) 病児・病後児保育事業、緊急サポートネットワーク事業									
取組内容	病児・病後児保育事業は、専用施設において、民間事業者に運営を委託して実施しています。緊急サポートネットワーク事業は、登録会員数が増加傾向にあり、継続的な利用がなされています。									
担当課	こども政策課									
計画・実績	区分			単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
計画	量の見込み			人日	284	276	279	270	271	
	確保 方策	病児・病後児 保育	実施箇所数	箇所	1	1	1	1	1	
			利用可能数	人日	900	900	900	900	900	
		緊急サ ポート	実施箇所数	箇所	1	1	1	1	1	
			利用可能数	人日	55	55	55	55	55	
実績	延べ利用数			人日	49					
	病児・病後児保育	実施箇所数	箇所	1						
		利用可能数	人日	900						
	緊急サポートネット ワーク	実施箇所数	箇所	1						
		利用可能数	人日	55						
	実施率 (病児・病後児)	実施箇所数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
利用可能数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
実施率 (緊急サポート ネットワーク)	実施箇所数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	利用可能数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
評価及び理由	A			市の保育サービスを補完する目的として計画どおり実施しています。						
課題など	病気の流行時期の需要増の対応や、感染症罹患児童の利用に伴うリスクの分散など、2事業の連携を含めた対応が必要となっています。									

事業名	(12) 学童クラブ事業(放課後児童健全育成事業)								
取組内容	保護者が就労等により昼間留守になる家庭の小学生に対し、授業の終了後などに適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る。								
担当課	子育て総合支援センター								
計画・実績	区分		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画	量の見込み	1年生	人	246	247	254	253	252
			2年生	人	199	200	204	204	204
			3年生	人	143	144	149	149	148
			4年生	人	58	59	59	60	61
			5年生	人	11	12	11	11	12
			6年生	人	3	3	3	3	3
			計	人	660	665	680	680	680
		確保方策	実施箇所数	箇所	17	17	19	19	19
	利用可能数		人	860	860	960	960	960	
	実績	1年生		人	294				
		2年生		人	229				
		3年生		人	126				
		4年生		人	23				
		5年生		人	7				
		6年生		人	0				
		計		人	679	0	0	0	0
		実施箇所数		箇所	17				
	実施率	利用数/量の見込み			102.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		実施箇所数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		利用可能数/確保方策			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	評価及び理由	A		学童クラブ利用者数は増加傾向にある。					
課題など	令和4年度からみどり台地区に新たな学童クラブを開設予定である。								

Ⅲ 幼児期の学校教育・保育の一体的提供及び推進体制の状況

取 組 内 容	教育・保育の一体的な提供については、保護者の就労形態により子どもの環境が左右されず、高い基準に基づく質の高い教育・保育が継続的に提供でき、地域の子育て支援が実施される幼保連携型認定こども園の普及促進に取り組みました。令和2年度は、新たに保育所型認定こども園が1か所増加し、保育園から幼保連携型認定こども園に1園移行し、合計15か所となりました。						
担 当 課	こども政策課						
その他事業の実態を示す数値	認定こども園の施設数	箇所	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			15				
	認定こども園の設置割合	箇所／箇所	15/25 (60%)				
評価及び理由	A	認定こども園が、市内の教育・保育施設数(認定こども園・認可保育園・幼稚園)の60%まで普及しました。					
課題など	令和2年度末時点で、幼保連携型認定こども園以外の教育・保育給付対象施設は(保育所3か所、幼稚園7か所、私学助成の幼稚園1か所)となっています。今後は2号・3号認定子どもの受け入れに係る保育定員の拡大と合わせて、事業者の意向を踏まえながら整備を進める必要があります。						

※認定こども園の設置割合は、「認定こども園の設置数／教育・保育給付対象施設数」をいう。

Ⅳ 「新・放課後子ども総合プラン」に基づく取組の状況

取 組 内 容	児童館が整備されていない地域のうち、地域の方々の支援や場所などが整った学校において教育委員会 が所管する「放課後こども教室」を開設しているが、令和4年度に開設するみどり台児童館においても、学校 と一体となった「放課後教室」を実施する。						
担 当 課	子育て総合支援センター						
その他事業の 実態を示す数値	放課後児童クラブ の実施回数	回	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			0				
評価及び理由	D	コロナウイルス感染症の影響から実施見送り					
課題など	令和2年度はコロナウイルス感染症の影響から、実施を見送っている。 今後はコロナウイルスの状況により、再開するとともに、新たに令和4年度に開設するみどり台児童館にお いても、学校と一体となった活動として「放課後教室」や学校施設を利用した取り組みを計画し、実施してい く。						

令和2年度 個別施策の指標（計画書P80～81）の実施状況
（ 18施策 18指標の実施状況 ）

具体的施策		指 標	現状 （H30年度）	到達目標 （R6年度）	R2実績値	達成率%	担当課
基本目標1 子どもが自己肯定感と幸福感を抱ける環境の充実							
家庭や地域の教育力の向上							
	青少年の多様な体験活動機会の充実	参加者の満足度	94%	95%以上	100%	105%	生涯学習課
基本目標2 安心して子どもを生み育てられる環境の充実							
子育て支援サービスの充実							
	ちとせ子育て特典カード事業の推進	協賛店舗数	88店舗	120店舗	87店舗	73%	こども政策課
	特定教育・保育施設の充実	待機児童数	0人	0人	0人	100%	こども政策課
	認定こども園化の促進	認定こども園施設数	13か所	17か所	15か所	88%	こども政策課
	保育士等確保方策の推進	※1「保育士等人材バンク」の年間新規登録者数	13人	15人	25人	167%	こども政策課
地域における連携・交流の充実							
	子育てに関する総合情報発信の拡充	「ママからnet.」への年間アクセス数	163,700件	165,000件	290,258件	176%	こども政策課
	「ちとせ子育てネットワーク」の拡充	子育て支援団体からの年間参加者数	84人	90人	0人	0%	子育て総合支援センター
	「企業連携ぶちゼミ」の開催	年間開催回数	12回	15回	12回	80%	子育て総合支援センター
妊産婦・乳幼児等に関する切れ目ない保健対策の充実							
	産後ケア事業の充実	希望日1週間以内の実施数	80%	90%	100%	111.1%	母子保健課
	新生児・産婦訪問事業の充実	赤ちゃん訪問において育児不安が解消されたと感じた人の割合	96.1%	95%以上	84.6%	89.1%	母子保健課
	ちとせ版ネウボラ（こども・妊婦ネウボラ）の充実	利用者の内、不安が解消されたと感じた人の割合	妊婦79.2% こども89.3%	妊婦80%以上 こども90%以上	妊婦83.7% こども89.0%	101%	子育て総合支援センター
結婚・出産・子育てのライフイベントを応援する環境づくり							
	「いいお産の日inちとせ」の実施	参加者の満足度	98.8%	95%以上	0% ※動画配信としたため	0%	こども政策課
子育て支援の利用につなげるきめ細やかな取組の推進							
	「まますサポート（訪問型子育て支援）」の推進	年間訪問回数	43回	50回	31回	62%	子育て総合支援センター
	「転入親子ウエルカム交流ツアー」の実施	参加者の満足度	97.1%	95%以上	86%	91%	こども政策課
基本目標3 子どもの安心・安全の確保と子育てしやすい環境の充実							
子育てにやさしい環境の整備							
	子育てにやさしい施設の充実	「子育てにやさしい施設」の数	62か所	70か所	67か所	96%	こども政策課
基本目標4 配慮を要する子どもと家庭への支援							
児童虐待防止対策の充実							
	「おやおや安心サポートシステム」の推進	実施対象施設数の割合	81.3%	95%以上	97.5%	102.6%	こども家庭課
	「子育てスキルアップ講座」の実施	参加者の満足度	95.3%	95%以上	100%	100%	こども家庭課
障がいのある子等への支援の充実							
	児童発達支援センターの設置等による地域支援の充実	利用者の満足度	79.2%	90.0%	95%	105.5%	こども療育課

※1 令和2年度より、「保育士等人材バンク」に代わる事業として、「保育士就職相談窓口『ちーマインダー』」を開設した。そのため、令和2年度においては、「保育士等人材バンク」の新規登録者数と「保育士就職相談窓口『ちーマインダー』」の新規登録者数を合わせた人数を計上する。（保育士等人材バンクから保育士就職相談窓口ちーマインダーに移行した人は含めない）

基本目標 1 子どもが自己肯定感と幸福感を抱ける環境の充実

施策	番号	取 組 項 目	主な取組内容や課題等	R 2 予算額 (千円)	R 2 決算額 (千円)	実施 状況	担当課
親 （１） の 育 成 代 の	①	中学生・高校生の乳 幼児とのふれあい機 会の推進	児童館まつりや各館での児童館行事の際、ボランティアとして参加し てもらい、乳幼児とふれあう機会を設けています。どのように参加者 を増やすかが課題となっています。	0	0	B	子育て総合支援 センター・こど も政策課・学校 教育課
	②	小学校男女共同参画 学習の推進	市内の小学６年生を対象に男女共同参画学習資料を配布し、標語コン クールを実施しました。 ※令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式及び 入賞作品展示会は中止としました。	36	32	A	市民生活課
（２）学校 の 教 育 環 境 等 の 整 備	①	個性を活かし能力を 育む教育の推進	創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本 的な知識及び技能を確実に習得させ、これらの活用にあたって必要な 思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習 に取り組む態度を養い、個人の価値を尊重しながら自主・自立の精神 を育む教育を行っています。	7,500	6,678	A	学校教育課
	②	情報化や国際化に対 応した教育の推進	公立千歳科学技術大学と連携し、eラーニング システムを活用した家庭学習（e ラーニング）の普及やプログラミング 学習の充実のための取組、総合的な学習の 時間等における外国の文化や生活に触れる取組や、姉妹都市アムステルダム 市の サント・レウイ小学校やミナミ 中学校との相互訪問交流を支援し、国際理解 教育を行っています。	1,673	1,572	A	学校教育課
	③	心の教育の推進	学校が家庭や地域と連携し、「道徳科」の授業公開や人権擁護委員等 による人権教室の開催、地域の人材等による体験を生かした指導過程 の工夫などにより、規範意識や生命尊重、思いやりの心を育むととも に、社会性や人間性を育む道徳教育を行っています。	0	0	A	学校教育課
	④	地域とともにある学 校づくりの推進	学校と地域がパートナーとして連携・協働して取組を進めていくた め、コミュニティスクール（学校運営協議会制度）を推進し地域と一 体となった特色ある学校づくりを進めます。	1,656	1,144	A	学校教育課
	⑤	認定こども園、幼稚 園、保育所、小学校 との連携の推進	認定こども園・幼稚園・保育所と小学校の間で子どもの成長に関する 情報交換や交流の機会を充実させ、保育要録の引き継ぎ等により小学 校へ円滑に移行できるよう取り組んでいます。	0	0	A	こども政策課・ 学校教育課
	⑥	幼稚園（私学助成） に対する補助事業の 実施	幼稚園（私学助成）に対し、私立幼稚園等光熱水費補助金、副食費実 費徴収に係る補足給付事業、施設等利用給付費等の補助を実施してい ます。 全国的な少子化傾向、女性の就労率上昇の影響により幼稚園就園率は 減少していますが、より良い環境で幼稚園教育をうけるための支援と して補助事業を行っています。	67,010	66,995	A	こども政策課
（３）家庭 や 地 域 の 教 育 力 の 向 上	①	家庭教育に関する多 様な学習機会の充実	子どもの発達段階に応じた育児知識の習得と情報交換の場を提供する ママさん教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、春・秋を 中止し、代替としてオンライン４回連続講座を実施、６人の参加があり ました。また、幅広く市民に家庭教育について考える機会を提供す る家庭教育セミナーを２回（延べ５２人）、父親（男性保護者）対象の 男性の子育て講座を１回（１３組３６人）実施しました。	1,875	328	B	生涯学習課
	②	市の子育て出前講座 の開催	各課において、市民の方に対し子育てに関する出前講座を行い、知識 や情報の普及、啓発に努めています。※令和２年度は新型冠状ウイル ス感染拡大防止のため、開催できない講座もありました。 （開催講座内容：しつけと体罰の違いについて、栄養、歯科、子ども の遊び、市内の子育て情報 など）	3	1	A	母子保健課・こ ども家庭課・子 育て総合支援セ ンター
	③	学校支援地域本部事 業の実施	市内小中学校全２６校を対象として実施し、支援延べ日数は４１０日（前 年度４５９日）と減少した一方、支援ボランティア登録者数は３３２名 （前年度２８７名）と増加し、活動延べ人数は１,３４６名（前年度１,３５５ 名）とほぼ横ばいとなりました。 新型コロナウイルス感染拡大による水泳授業の中止、外部ボランティ アの活用自粛等もあり、支援が難しい状況にあった中で、学校の支援 要望アンケートを行い、新たな支援につながりました。	3,264	3,236	B	生涯学習課
	④	青少年の多様な体験 活動機会の充実	子どもたちに多様な体験活動の機会を提供するチャレンジ教室及び体 験教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため８月まで実施を見 合わせていましたが、９月から再開し、チャレンジ教室５回（延べ６７ 人）、体験教室３回（延べ５２人）実施しました。	526	340	B	生涯学習課
	⑤	読書環境の整備	市立図書館では移動図書館車の巡回運行、ブックスタート事業、子ど も向け読書事業等を実施し、小中学校では学校司書の配置により読書 環境の充実に努めましたが、新型コロナ対策のため施設の休館や事業 の休止・縮小などの影響がありました。今後も生活環境等の変化によ り、親も子も読書離れが進むことがないよう、読書普及に関する継続 的な取組が必要です。	163,742	163,624	B	文化施設課
	⑥	スポーツ活動の推進	千歳市体育協会などと連携し、スポーツイベントや各種スポーツ教室 を実施するほか、スポーツ指導者の配置、生涯スポーツ活動の推進等 を行っています。※令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の ため、一部の事業を中止としました。	83,288	64,322	C	スポーツ振興課

※実施状況

A:達成・実施 B:達成に近い・大半を実施

C:未達成に近い・僅かに実施 D:未達成・未実施

	⑦	子どもを取り巻く有害環境対策の推進	書店やコンビニエンスストアにおける有害図書類の区分陳列状況の確認及び携帯電話端末等販売店等のフィルタリング実施確認について、全店舗を対象に実施しています。また、千歳警察署と連携し、カラオケ店等への立入調査を実施しています。	1	1	A	青少年課
	⑧	食育の推進	乳幼児健診時の栄養相談、ちとせ版ネウボラ、健康教育等のあらゆる機会を通して普及啓発を行い、乳幼児期から望ましい食生活の確立に向けた取り組みを継続していきます。 また、食に関する正しい知識を普及啓発するとともに、正しい食習慣の習得を推進するため、食育パネル展や食育フォーラム（講演会）を開催しています。※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会は中止としました。	42	31	A	健康づくり課・母子保健課
（４）子どもが健やかに育まれる環境の充実	①	子どもの権利を守るための環境づくり	児童生徒に対し命や思いやりの大切さ、差別やいじめのない社会の大切さについて教育すること及び児童生徒が、お互いに協力しながら花などの植物を栽培することによって、情操を豊かにし、命の大切さや相手への思いやりという基本的人権尊重の精神を身に付けることを目的として、人権擁護委員による「人権教室」及び「人権の花運動」を実施しました。	1,010	790	A	市民生活課
	②	北陽小学校分離校新設に伴う児童館・学童クラブの整備	令和4年4月の開設に向け、令和2年度に実施設計委託し、令和3年度建設工事を実施する予定です。	12,499	9,020	A	子育て総合支援センター
	③	学童クラブ事業の推進	17か所で学童クラブ事業を実施しました。また、緑小学校区学童クラブ新築整備事業では、建築工事、備品等の購入を行いました。	36,558	33,627	A	子育て総合支援センター
	④	児童館事業の推進	10館で児童館事業を実施しています。今後も小学校児童数や地域状況を勘案の上、児童館の整備を検討するとともに、既存の施設については計画的に修繕を行い、安全な施設運営に努めます。	18,461	16,765	A	子育て総合支援センター
	⑤	「ランドセル来館」事業の推進	保護者が就労または病気などの理由で、長期もしくは一時的に留守家庭になる場合に、学校からランドセルを背負ったまま児童館に来館できる「ランドセル来館」を児童館10館で実施しました。引き続き無料で実施するほか、利用者のさらなる利便性向上を図ります。	13,193	10,070	A	子育て総合支援センター
	⑥	「放課後子ども教室」の推進	地域住民の参画を得て小学校施設を活用しながら、学習やスポーツ・文化体験活動など、様々な活動を行うよう努めます。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました	322	20	D	生涯学習課
	⑦	「中高生タイム」の推進	児童館10館で17時30分から18時30分を中高生の専用時間「中高生タイム」として実施しています。地域によって利用状況に差があり、また、利用者数が減少傾向にあることから、周知方法等を検討していきます。	0	0	B	子育て総合支援センター
	⑧	学校体育施設の活用	放課後に児童の安全な遊び場や、青少年スポーツ団体、個人に対するスポーツ振興のための場所を提供するため、小中学校の体育館、校庭やプール施設を、学校教育に支障のない範囲で一般市民に開放しています。また、地域開放として土曜日の午前中に校庭・体育館の開放を行っています。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部期間を開放中止としました。	7,701	6,333	C	スポーツ振興課
	⑨	青少年会館の運営	青少年会館は、青少年の心身の健全な発達を促し、地域における青少年活動の振興を図るための施設として、スポーツ少年団等に利用されていますが、新型コロナ対策のため施設を休館するなどの影響がありました。 施設は建築から50年以上が経過しており、老朽化が進んでいますが、今後も継続して利用できるよう必要な修繕を行います。	4,920	4,617	B	文化施設課
	⑩	青少年指導センター活動の充実	青色回転灯を点灯した巡回指導車による巡回指導、夜間・早朝巡回指導のほか、神社祭等の特別指導、書店等への有害図書立入調査等を行っています。また、青少年指導員と児童との交流を図る「地区内育成ふれあい活動」の実施や、専門指導員による青少年相談体制の維持に努めています。	3,909	3,108	A	青少年課
（５）学童た期保・思対春策期の充実に成人期に向け	①	性に関する健康教育の推進	10代の予期しない妊娠及び性感染症を予防するため、保護者と学童・生徒等に講座を実施し、思春期の身体変化や性行動などの正しい知識を普及啓発しており、今後も継続して行います。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。	100	0	D	母子保健課
	②	性教育の推進	児童生徒の発達段階に応じて、性教育に関する正しい知識を身に付けるため、保健、道徳、特別活動、生徒指導などの教育活動全般を通じた性教育を行っています。	0	0	A	学校教育課
	③	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の推進	児童生徒が薬物被害に関する正しい知識や規範意識を身に付けるため、小学校5、6年生や中学校の保健や特別活動などの授業において、関係機関と連携して薬物乱用防止教室などにより薬物乱用防止教育を行っています。	0	0	A	学校教育課
	④	こころの健康の推進	子ども・若者に対し、相談することは恥ずかしいことではないこと、安心安全な相談先を知っておくこと、また、困った人を見かけた際に情報提供ができるよう、携帯用相談先一覧カードやリーフレットの配布等を実施し、自殺予防の啓発に努めています。	487	464	A	健康づくり課

※実施状況

A:達成・実施 B:達成に近い・大半を実施
C:未達成に近い・僅かに実施 D:未達成・未実施

基本目標2 安心して子どもを生み育てられる環境の充実

施策	番号	取組項目	主な取組内容や課題等	R 2 予算額 (千円)	R 2 決算額 (千円)	実施 状況	担当課
(1) 子育て支援サービスの充実	①	地域子育て支援拠点 (連携型)の拡充	本市の子育て支援中核施設である「ちとせっこセンター」、「げんきっこセンター」、「アリス子育て支援センター」の3か所を基軸として実施する地域子育て支援拠点事業については、平成27年度には市内7か所の児童館に連携型地域子育て支援拠点を設置、平成31年度には「あんじゅ児童館」にも拡充し、身近な地域での子育て支援の充実を図っている。今後の取り組みとして、令和4年度にみどり台地区に新たな児童館を開設し、子育て支援の拡充を図る。	12,685	12,272	A	子育て総合支援センター
	②	子育て支援センターの機能充実	「子育て支援センター」、「児童館」、「学童クラブ」を持つ中核施設としてちとせっこセンター、げんきっこセンターを運営し「つどいの広場」、「子育て相談」、「子育て講座」などの各種事業を実施しています。今後も、乳幼児から高校生まで切れ目ない子育て支援を行うよう、中核施設としての運営を継続しています。	19,125	18,143	A	子育て総合支援センター
	③	一時預かり事業の充実	一時預かり事業（一般型）は、現在は合計5か所で実施し、事業の充実と利用者の利便向上を図っています。 また、一時預かり事業（幼稚園型）は、私立認定こども園全園及び幼稚園で実施しています。	33,121	26,087	A	こども政策課
	④	ファミリー・サポート・センター事業の推進	登録会員数は増加傾向にあり、定期的な研修の実施により会員の質の向上に努めています。また、ひとり親家庭に対する利用料の助成を行い、事業の充実と利用者の利便向上を図っています。（令和2年度：依頼会員925人、提供会員189人、両方会員153人）	7,706	7,422	A	こども政策課
	⑤	緊急サポートネットワーク事業の推進	登録会員数は増加傾向にあり、緊急時の補完的役割を担う事業として継続的に実施します。（令和2年度：利用会員356人、スタッフ会員40人、両方会員4人）	2,255	2,254	A	こども政策課
	⑥	子育て短期支援事業 (ショートステイ事業)の推進	保護者の病気や社会的理由などにより、家庭において児童の養育が一時的に困難な場合に、養護施設において短期間（原則7日間）宿泊付きで児童を預かる事業です。千歳市内には受け入れ施設がないため北広島市の養護施設に委託しています。	538	81	A	こども家庭課
	⑦	ちとせ子育て特典カード事業の推進	地域社会全体による子育て支援の機運を高めることを目的に、妊娠中の方がいる世帯または市内に住所のある18歳までの子どもがいる世帯に、協賛店で提示した際に商品の割引などの特典サービスを受けることができるカードを交付しています。令和2年度から利便性向上のため、スマートフォンなどで提示できるメール版の普及を行った。今後も市内協賛店の拡大を図るとともに、制度の周知に努めます。（令和3年3月末現在：87店舗）	213	163	A	こども政策課
	⑧	特定教育・保育施設の充実	私立認定こども園、私立認可保育所に運営費負担金を支出し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを担っています。（令和3年3月末現在：15か所）	2,592,256	2,499,974	A	こども政策課
	⑨	認定こども園化の促進	認可保育所から認定こども園への移行を促進し、2号・3号認定子どもの保育定員の拡大を図りました。（令和2年度：1園移行）	0	0	A	こども政策課
	⑩	認可外保育施設から認可施設への移行促進	認可外保育施設から認定こども園への移行を促進し、2号・3号認定子どもの保育定員の拡大を図りました。（令和2年度：1園移行）	0	0	A	こども政策課
	⑪	延長保育事業の推進	令和2年度は、一部、保育短時間認定に限る場合もありますが、地域型保育事業所を含め全園で延長保育事業を実施しました。	23,339	20,702	A	こども政策課
	⑫	病児・病後児保育事業の推進	市民病院に併設する専用施設「こどもデイケアルーム」において、民間事業者に運営を委託して実施しています。（実施箇所数：1か所）受入定員は3名で運営しています。感染症に対応できる施設への改善を図る為、適宜備品を更新しています。	6,313	5,007	A	こども政策課
	⑬	休日保育事業の充実	日曜日、祝日の保護者の就労に伴う保育ニーズに対応するため、私立事業所内保育所1か所で実施しています。制度上、市内の各教育・保育施設での自発的な実施も可能ですが、需要が少ないこと、事業従事者の体制確保が困難などの課題があり、引き続き、市の委託事業として市内1施設で実施することとしています。（実施箇所数：1か所）	770	854	A	こども政策課
	⑭	夜間保育所への支援	保護者の就労等により夜間に保育を必要とする家庭を支援するため、基準に基づき夜間保育を実施する私立認可外保育所に対し、市独自の補助を実施しています。（実施箇所数：1か所）	8,511	8,507	A	こども政策課

※実施状況

A:達成・実施 B:達成に近い・大半を実施

C:未達成に近い・僅かに実施 D:未達成・未実施

	⑮	市立認可外保育所の実施	教育・保育施設等がない市街地から遠く離れた農村地区や支笏湖温泉地区において市の認可外保育所を3か所設置し、4月から12月までの間、開所しています。 認可外施設として利点を生かし、1日の開所時間など地域の特性や実情を踏まえながら運営を継続します。	10,365	7,928	A	こども政策課
	⑯	幼稚園における預かり保育事業の促進	市内のすべての私立幼稚園で実施しており、従来のまま教育・保育給付を受けない幼稚園については、今後も国・北海道の私学助成制度のもと、事業を継続します。	24,326	18,720	A	こども政策課
	⑰	保育士等確保方策の推進	保育士不足に対応するため、保育士が相談できる場所として開設していた保育士就職相談窓口「ちーマインダー」に、保育施設関連の求人を取り扱う無料職業紹介所としての機能を追加しました。 また、保育士・幼稚園教諭合同就職面接・説明会の開催に加え、道内の保育士養成校に千歳市の保育士として働く魅力を伝えるため、周知活動を行いました。	231	175	A	こども政策課
	⑱	教育・保育施設や子育て支援事業の従事者の総合的な研修の実施	年に1回、市内の教育・保育施設に従事する職員を対象に、専門的知識の向上のため研修を行っています。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、多くの人数が集まる講演型の研修は行わず、幅広い分野から選択できるオンラインでの研修を実施しました。	450	126	A	こども政策課
(2) 地域における連携・交流の充実	①	地域子育てサロンの支援	地域に身近な町内会館などの施設を利用した地域子育てサロンが9か所あり、その運営を支援しています。	150	65	B	子育て総合支援センター
	②	「ランチデー・ランチタイム」の実施	単館児童館7館において子育てサークルなどの貸館利用の際にお弁当を食べることができるランチタイムを実施するほか、ちとせっこセンター、げんきっこセンターで毎日ランチランチデーを実施しています。※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全館でランチタイムを中止としました。	0	0	D	子育て総合支援センター
	③	教育・保育施設における地域交流・世代間交流事業の推進	認定こども園等の園庭開放や地域住民の参加や世代間交流を積極的に進めます。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。	0	0	D	こども政策課
	④	子育てに関する総合情報発信の拡充	子育てに必要な情報を保護者目線で伝えるため、「ママからnet.」を用いて市内外に情報発信を行いました。また、ちとせ子育てネットでは市内の子育てに関する情報の充実を図りました。	628	524	A	こども政策課
	⑤	「児童館まつり」の実施	児童館10館において、全館合同での開催と各館ごとの児童館まつりを開催しています。※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。	62	0	D	子育て総合支援センター
	⑥	「ちとせ子育てネットワーク」の拡充	ちとせ子育て支援ネットワークとして交流会や学習会を開催し地域全体の子育て支援の充実を図っています。※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流会や学習会は中止しました。	198	0	D	子育て総合支援センター
	⑦	「企業連携ぶちゼミ」の開催	児童館と連携し、千歳市内の企業の技術を子育て世代に無料で提供していただいています。※令和2年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、一部講座を中止としました。（令和2年度：ぶちゼミ登録企業10か所）	0	0	A	子育て総合支援センター
	①	妊婦健康診査・産婦健康診査事業の充実	妊婦が定期的に健康診査を受診することで、妊娠期を健康的に過ごし、安全に出産できるよう、1人の妊婦に「妊婦一般健康診査受診票」14回、「超音波受診票」6回分の助成を行うほか、令和元年7月からは産婦を対象に「産婦健康診査受診票」2回分の助成を開始し、妊娠中から産後にわたって健康状態の確認ができるよう取り組みを行います。	74,439	61,238	A	母子保健課
	②	妊婦教室(わくわくママクラブ)・両親教室(体験パパクラブ・パパの育児基礎講座)の開催	妊婦期において健康的に過ごし、安全に出産や育児ができるよう、教室を行っています。教室は妊娠中の過ごし方コース、子育て準備コース、子育て支援センター見学コースの3コースを実施し、妊婦教室妊娠中の生活習慣の整え方及び育児手技などの知識の普及啓発や仲間づくりを今後も継続して行います。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期は中止、後期は規模を縮小して実施しました。	53	26	C	母子保健課
	③	助産施設制度の実施	経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦を対象に、助産施設において助産を行っています。関係機関と連携し、適正な制度運営を実施しています。（令和2年度制度利用者：2人）	3,780	896	A	こども家庭課
	④	産後ケア事業の充実	妊娠期から子育て期の切れ目ない支援体制のうち、助産師等の看護職が中心となり、妊産婦等に対して心身のケアや育児技術などのきめ細やかな支援を行います。訪問型とデイサービス型の2種類から利用者が選択でき、満足度の高い事業となっています。	5,585	5,351	A	母子保健課

※実施状況

A:達成・実施 B:達成に近い・大半を実施
C:未達成に近い・僅かに実施 D:未達成・未実施

(3) 妊産婦・乳幼児等に関する切れ目のない保健対策の充実	⑤	新生児・産婦訪問事業の充実	新生児・乳児の健全な育成と産婦の健康の保持増進、育児不安の軽減のため、保健師や助産師が新生児・乳児のいるすべての家庭に訪問し、新生児・乳児の発達や発育及び産婦の心身の健康状態の確認、母乳育児の推進や育児の情報提供を行っており、今後も事業を継続して行います。	350	222	A	母子保健課
	⑥	乳幼児健康診査事業と事後支援の充実	乳幼児の健全な育成と保護者の健康の保持増進や育児不安の軽減のため、各健診において乳幼児の発達・発育の確認、疾病の早期発見・早期治療につながるよう支援し、必要時には個別支援を行っています。今後も事業を継続して行います。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受診時期や人数、時間等を調整して実施しました。	16,573	14,811	A	母子保健課
	⑦	5歳児相談の実施	幼児の健全な育成と保護者の健康の保持増進や育児不安の軽減のため、5歳児とその保護者に相談を行っています。相談では、幼児の発達・発育の確認、発達障害児の早期発見と支援につなげ、育児不安の軽減に取組み、必要時には個別支援を行っています。今後も事業を継続して行います。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。	284	72	D	母子保健課
	⑧	ちとせ版ネウボラ(こども・妊婦ネウボラ)の充実	産後うつや育児ノイローゼ、虐待の防止を図るため、総合保健センター、子育て支援センター及び家庭児童相談室がネットワークを構築し、関係機関との連携を行います。また、市内の子育て支援センターや保健センターで、妊婦・こどもネウボラを実施し、切れ目のない支援を展開しています。	1,144	1,136	A	母子保健課
	⑨	養育支援訪問など育児支援の充実	乳幼児の健全な育成と保護者の健康の保持増進や育児不安の軽減及び適切な育児行動がとれるよう、健康状態や養育環境に問題を抱えた妊婦とその家族及び養育や乳幼児の発達などに問題を抱えた乳幼児とその家族に、来庁相談や電話相談、養育支援訪問などの個別支援を行っており、今後も継続して行います。	1,178	596	A	母子保健課
	⑩	こども発達相談の充実	こども発達相談室は、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、児童発達相談員等の専門職員を配置し、個別発達相談・遊び支援・電話相談の形態で、発達に心配のある子どもや保護者への相談支援を継続実施しています。巡回支援事業では、認定こども園・学童クラブ等に訪問し、子ども集団での困り感に対し、行動観察・保育者への助言を実施しました。障害児相談支援事業所は、通所支援事業所の適正利用のため、保護者のアセスメントや関係機関との連携を強化しています。	136	160	A	こども療育課
	⑪	妊産婦・乳幼児の栄養相談・健康教育の充実	妊婦が安全に出産でき、健康であるよう、また、乳幼児が健康に発育するよう、栄養についての相談や健康教育等により、保護者に知識を普及し、生涯にわたる栄養・食事の取組みについて意識の高揚を図っており、今後も継続して行います。	14	6	A	母子保健課
	⑫	むし歯予防対策の推進	乳幼児では、むし歯を予防するため、各健診においてケアの知識の普及啓発及びむし歯等の早期発見・早期治療につなげるよう支援しています。 小学校では、児童のむし歯予防を図るため、保護者の理解を得ながら、フッ化物洗口を行っています。 また、乳幼児の保護者や学童を対象に、むし歯の予防について知識を普及し、生涯にわたるむし歯予防への意識の高揚を図っており、今後も推進を継続して行います。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、フッ化物塗布を中止し、幼児健診は前期を中止とし、後期のみ実施しました。また、小学校ではフッ化物洗口の実施数が減少しました。	7,231	6,402	B	母子保健課・学校教育課
(4) 小児医療の充実	⑬	健康診査(さわやか健診・子宮がん検診・乳がん検診)事業の充実	19～39歳の市民に対し、生活習慣病の予防を目的とした「さわやか健診」、がんの早期発見・治療を目的に、「子宮・乳がん検診」を実施しています。土日の健診等、受診しやすい環境を整備しています。受診率向上が課題のため、企業との連携協定を結ぶなど、周知・啓発活動を実施していきます。	23,155	17,670	A	市民健康課
	①	救急医療体制の充実	市民の健康や病気に関する不安を解消するため、医師・保健師・看護師等の専門スタッフが24時間・年中無休で相談対応する「ちとせ健康・医療相談ダイヤル24」を実施しています。 初期救急医療業務を休日夜間急病センターで対応し、救急医療体制の維持・確保を図っています。	6,930	6,930	A	救急医療課・健康づくり課
	②	予防接種事業の充実	各疾病の感染予防、疾病の発生及びまん延を防止するため、各定期予防接種を実施し、適切な年齢や時期に接種を勧奨し、健康や公衆衛生の向上及び増進を図っており、今後も継続して行います。	307,203	286,796	A	母子保健課
	③	子ども医療費助成事業の実施	市内に居住する中学生以下の子ども（生活保護世帯・重度心身障がい者及びひとり親家庭等医療費の助成対象者を除く。）の保護者に医療費受給者証を交付し、医療費の助成を行っています。（令和2年度受給者数：11,143人） また、市内に居住する乳児であって医師が入院養育を必要と認めた未熟児の保護者に対し医療券を交付し、扶養義務者の課税状況に応じた徴収基準月額を除く養育医療の給付を行っています。（令和2年度受給者数：26人）	147,446	137,000	A	国保医療課

※実施状況

A:達成・実施 B:達成に近い・大半を実施
C:未達成に近い・僅かに実施 D:未達成・未実施

(5) 仕事と子育てを両立するための環境づくり	①	仕事と子育ての両立支援に関する情報提供	新型コロナウイルス感染症に伴う小学校休業等対応助成金・支援金や母性健康管理措置についてホームページに掲載して周知するとともに、育児・介護休業法や両立支援に関するパンフレット等を商業労働課情報コーナーや男女共同参画パネル展で配布することにより、普及啓発に努めました。仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備のため、今後も各種制度等の情報提供に努めます。	0	0	A	商業労働課・こども政策課
	②	事業所内保育所への支援	従業員の子どもを保育するため、事業所内で運営している認可外事業所内保育所へ教材費の補助を行っています（実施箇所数：1か所）	439	220	A	こども政策課
	③	男女共同参画社会の推進	「ちとせ男女共同参画月間セミナー」、「男女共同参画再チャレンジ支援セミナー」、「男女共同参画環境づくりセミナー」を開催し男女共同参画社会の推進に努めます。※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。	287	0	D	市民生活課
	④	男性の育児参加の促進	休日開館での講座や父親向けや家族に向けた講座の開催や、育児に対しての関心を深められるよう父親となる男性へ父子健康手帳を発行し、積極的な育児参加を促しています。また、子育てママ応援会議の成果として、「子育てするなら、千歳市」のキャッチフレーズのもと、千歳市が子育てにやさしいまちであるように、また、市民の方々の支えとなるよう「みんなで子育て応援宣言」を掲げました。	97	97	A	市民生活課・こども政策課・子育て総合支援センター
(6) ライフイベントを応援する環境づくり	①	結婚を応援する取組の実施	結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供するため、オンライン婚活パーティーを3回開催しました。（令和2年度カップル成立数：9組）	820	727	A	政策推進課
	②	「いいお産の日inちとせ」の実施	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、これまでの会場型のイベントではなく、出産や育児に関する動画をYoutubeで公開し、「第6回いいお産の日inちとせ」として開催しました。（公開動画：市内子育て関連部署のご紹介、人形劇、産後ケア事業の紹介、市内産科施設からのメッセージ等。令和2年度総再生回数：3,532回）	104	59	A	こども政策課・子育て総合支援センター
(7) 子育て支援の利用につなげるきめ細やかな取組の推進	①	「ちとせ子育てコンシェルジュ」事業の推進	ちとせっこセンター、げんきっこセンターにそれぞれ2名の「ちとせ子育てコンシェルジュ」を配置し多種多様な子育て支援事業の利用にあたっての情報集約と提供、利用者支援を実施しています。	682	455	A	子育て総合支援センター
	②	「ママサポート(訪問型子育て支援)」の推進	子育てコンシェルジュが、出産や子育てに不安を抱える家庭を訪問し、教育・保育施設や子育て支援サービスの利用に「つなげる」活動を実施しました。※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訪問での滞在時間を短くするなどして対応しました。（令和2年度：23家庭・31回訪問）	167	167	A	子育て総合支援センター
	③	子育てに関する総合情報発信の拡充(再掲)	(再掲)	—	—	—	こども政策課
	④	「転入親子ウェルカム交流ツアー」の実施	平成27年度から、千歳市に転入してきた子育て世帯を対象にしたバスツアーを実施しています。市内の親子連れで行きやすい施設の見学や、市の子育て支援施設の紹介を通じて、参加した親子同士が知り合うきっかけをつくり、引きこもりがちな乳幼児期の親子の利用につなげることを目指し、取り組みを進めています。（令和2年度参加者数：7組15名）	60	107	A	こども政策課
	⑤	こども食堂応援事業の推進(再掲)	(再掲)	—	—	—	こども家庭課

※実施状況

A:達成・実施 B:達成に近い・大半を実施
C:未達成に近い・僅かに実施 D:未達成・未実施

基本目標3 子どもの安心・安全の確保と子育てしやすい環境の充実

施策	番号	取組項目	主な取組内容や課題等	R2予算額 (千円)	R2決算額 (千円)	実施 状況	担当課
(1) 良質・良好な居住環境の確保	①	公営住宅の整備	公営住宅等長寿命化計画に基づき、北栄団地4号棟及び高台団地5・6号棟の長寿命化型改善等を行うことにより、公営住宅ストックの長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減に努めています。	53,231	47,536	A	市営住宅課
	②	住宅情報の提供	千歳市職員による住宅の新築、増築、改修等に関する各種手続き、法律、設計、支援制度、融資制度及び税などの相談対応及び情報提供を行いました。 また、ホームページによる空き家・空き地に関する情報提供を継続して行いました。	0	0	A	建築課・主幹（建築政策担当）
	③	シックハウス対策の推進	民間建築物については、新築時の建築確認申請において、建築基準法で定めているシックハウス対策の規定に係る審査を行っています。また、公共建築物については、建築基準法の規定に加え市が定める上乘せ基準を遵守し、改修工事の完了時に化学物質の室内濃度規制値を満たしていることを確認しています。	0	0	A	建築課
(2) 子育てしやすい環境の整備	①	子育てにやさしい施設の充実	乳児を連れて外出した際に、おむつ交換や授乳場所等を設けている施設（公共施設・民間店舗等）の登録を行っています。より多くの保護者の利便向上をめざし、ちとせ子育てネットなどを通じて普及啓発に努めます。（令和3年3月末現在：67か所）	0	0	A	こども政策課
	②	子育てバリアフリーの推進	民間建築物については、バリアフリー法や北海道福祉のまちづくり条例に基づき、新築時の届出において、整備基準に適合するよう必要に応じた助言を行っています。また、公共建築物については、学校や児童センターの建築設計において、段差の解消や乳幼児と一緒に利用しやすい多機能トイレなどの整備に取り組んでいます。	0	0	A	建築課
	③	安全な道路交通環境の整備	千歳駅周辺交通バリアフリー基本構想に基づく特定経路について、歩行者が安全で快適に通行できるよう、バリアフリーに配慮した歩道の整備を進めていきます。 また、国が推進する教育・保育施設等が行う散歩等の園外活動における安全確保のため、キッズゾーンの設定に向けて今後も調査・研究を行っています。	19,036	18,513	A	道路建設課・こども政策課
	④	公園の整備	街区公園等の施設整備や遊具等設備の安全対策のほか、幼児や高齢者、障がい者などが利用しやすいよう、バリアフリーに配慮した施設整備、施設改修を計画的に進めます。	178,395	173,741	A	都市整備課
(3) 子どもを交通事故や犯罪等の被害から守るための活動の推進	①	交通安全教室の実施	幼児を対象とした交通安全教室を実施し、交通事故防止の啓発活動に取り組んだほか、感染症拡大防止のため中止となった小学校の授業の代替として対象学年ごとにDVDを作成・配布し、交通安全に関する学習の機会を提供しました。	3,976	3,257	B	市民生活課
	②	交通安全指導の実施	交通安全教育指導員及び交通指導員を配置し、学校や地域と連携しながら各年齢層に応じて日常生活における交通安全意識や交通ルール等を習得するための指導啓発を行いました。	3,976	3,257	B	市民生活課
	③	緊急避難所「子ども110番の家」指定事業の充実	校区内の指定場所の点検と確認を行うとともに、新たに協力いただける住宅、店舗、事業所等「子ども110番の家」の追加・見直しの整備を行い、安全マップを作成し全児童等に配布を行っています。	605	604	A	青少年課
	④	千歳っ子見守り隊支援事業の実施	児童生徒の安心・安全のため、登下校の時間に合わせて、毎日立哨、巡回指導を実施しています。 今後、隊員減少が考えられることから、更なる対応を図ります。	365	248	A	青少年課
	⑤	不審者情報携帯メール配信事業の実施	市内小中学校等から通報された不審者情報について、関係機関にFAXで連絡すると共に、メール配信、ホームページを通じて、市民に情報提供をしています。	10	1	A	青少年課

※実施状況

A:達成・実施 B:達成に近い・大半を実施

C:未達成に近い・僅かに実施 D:未達成・未実施

基本目標4 配慮を要する子どもと家庭への支援

施策	番号	取組項目	主な取組内容や課題等	R2予算額 (千円)	R2決算額 (千円)	実施 状況	担当課
(1) 児童虐待防止対策の充実	①	「子ども家庭総合支援拠点」の運用	1.子ども家庭支援全般に係る業務、2.要支援・要保護児童への支援、3.関係機関等との連絡調整、4.要保護児童等対策に関する啓発について、千歳版ネウボラや北海道中央児童相談所等と連携・協働して事業を行っています。子育ての孤立化による不安を抱えている保護者が増大していることから、今後も各種相談を継続します。	338	52	A	こども家庭課
	②	「要保護児童地域ネットワーク協議会」による連携	児童福祉法に基づき、平成17年9月に設置された千歳市要保護児童地域ネットワーク協議会の構成員（児童相談所、保健所、警察署、民生委員児童委員、保育所、幼稚園、小中学校等）と連携し、児童虐待の早期発見や未然防止、適切な保護に向けた対応を行っています。代表者会議や実務者会議を開催するとともに、必要に応じ個別のケース検討会議を開き情報の共有や支援の役割分担等の協議を行います。	682	491	A	こども家庭課
	③	「おやおや安心サポートシステム」の推進	市内の保育所・幼稚園の入園児を対象に千歳市独自の経過観察票を用いて児童の様子を確認し、不適切な養育が疑われる親子がいた場合には、要保護児童地域ネットワーク協議会の個別ケース会議により支援方法を検討します。就学前児童の虐待は重篤な事故につながる場合があり、発生予防の段階から情報を共有し、児童虐待の未然防止に努めます。	0	0	A	こども家庭課
	④	「子育てスキルアップ講座」の実施	暴力を伴ったしつけは子どもに親への恐怖感を与え、親子関係にダメージを与えることから、「子育てスキルアップ講座」を開催し、暴力や暴言を使わずに子どもを効果的にしつけるスキルを体得する「子育てスキルアップ講座」を児童館などで開催し、効果的なスキルを普及します。児童相談所と連携し子どもとの家族再構築を目指す家庭などに個別の対応を行っています。	835	241	A	こども家庭課
	⑤	養育支援訪問ヘルパー派遣による児童虐待防止対策の推進	養育者が子育てに対する不安や孤立感を抱える家庭や、心身の疾病等により子どもの養育について支援が必要と判断される家庭に対し、養育支援ヘルパーを派遣しています。養育支援ヘルパーによる家事・育児支援を行うほか関係機関が連携して適切な養育環境の確保に努めます。	402	0	A	こども家庭課
	⑥	虐待予防母子保健の充実	乳幼児及び児童への虐待を予防することで、乳幼児及び児童が適切に養育され、また保護者の育児不安の軽減及び適切な育児行動がとれるよう、虐待などの問題が起こる前から早期支援し、養育環境に問題を抱えた家族に講座などを実施しており、今後も継続して行います。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子育て講座を中止としました。	242	0	D	母子保健課
	⑦	児童虐待対応マニュアル等の作成・配布による普及啓発	子どもに関わる地域の関係機関や市民が、児童虐待に関する理解を深めるとともに、子どもや保護者との日々の関わりの中で、虐待の未然防止や早期発見を意識し、迅速な対応ができるよう虐待に関するマニュアルを作成しました。	0	0	A	こども家庭課
(2) 心のケアを必要とする子どもへの支援の充実	①	教育相談の充実	いじめ、不登校、問題行動等の早期発見や早期解消を図るため、スクールカウンセラーや心の教室相談員を学校に配置し、教育委員会においては常駐の専門相談員による教育相談や市内小中学生、保護者などを対象としたスクールカウンセラーによる教育相談日を開設するなど、学校、地域、関係機関等と連携した支援体制づくりに取り組みます。	222	210	A	青少年課
	②	学校適応指導教室「おあしす」の充実	不登校の状態になっている小中学生個々の居場所となる学校適応指導教室「おあしす」を開設し、登校はできなくても、他の場所なら通える子どもに対して、個別に適切な教育相談を行うとともに、基本的な生活習慣や学習活動等の指導を行いながら学校生活への復帰を目指します。	827	466	A	青少年課
	③	里親制度の普及	様々な事情で社会的擁護が必要な児童を、より家庭的な環境で心身ともに健やかに育てることを目的に、北海道中央児童相談所と連携しながら里親登録者の確保を図るため、市の広報誌等への「里親制度」啓発記事の掲載、里親制度に関するPRポスターの掲示等を行っています。	0	0	A	こども家庭課
(3) ひとり親家庭の自立支援の充実	①	母子・父子自立支援員による相談体制の充実	関係機関と連携し、自立に結びつく情報提供や指導、求職活動に関する支援、離婚前後の相談など総合的な相談業務を行っています。	116	94	A	こども家庭課
	②	母子家庭等日常生活支援事業の実施	母子家庭、父子家庭又は寡婦の方で、就職活動等や疾病等の理由により、一時的に生活援助が必要な場合に家庭生活支援員を派遣しています。市民には機会がある度に事業を周知しています。	149	38	B	こども家庭課
	③	児童扶養手当制度の実施	離婚などにより父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭へ、4月、8月、12月の年3回の定例振込を実施し、8月の現況届の提出により支給継続を確認しています。また、離婚前後の家庭について、相談・各種制度の説明・助言などを行っています。	449,314	440,215	A	こども家庭課
	④	ひとり親家庭等医療費助成事業の実施	原則18歳に達する年度の年度末までの児童の入院・通院及び親の入院に対して、医療費受給者証を交付し医療費の助成を行っています。小学校就学前の児童及び住民税非課税世帯には全額助成（初診時一部負担金を除く。）、住民税課税世帯の小学生以上の児童と親には2割助成を行っています。（令和2年度未受給者数：2,377人）	21,697	20,761	A	国保医療課
	⑤	母子家庭及び父子家庭自立支援給付金事業の推進	①母子家庭等の経済的な自立を図るため、市が指定する教育訓練給付講座の受講者に講座終了後に受講料の6割を支給しています。 ②看護師、介護福祉士など特定の資格を取得するため、1年以上養成期間で修業する者に訓練促進給付金等を支給しています。	6,170	1,993	A	こども家庭課

※実施状況

A:達成・実施 B:達成に近い・大半を実施
C:未達成に近い・僅かに実施 D:未達成・未実施

	⑥	学習支援事業「ちとせ学習チャレンジ塾」の実施	生活困窮世帯の子どもに対して、自主的に学べる場を提供し、高等学校進学及び卒業に向けた継続的な学習支援を通じて、貧困の連鎖を断ち切り、将来へ希望を持って就学及び就労できるようにすることを目的とする。 生活保護世帯及びひとり親家庭などの生活困窮世帯の中学生・高校生を対象。週2回開催。	4,580	3,669	A	福祉課
(4) 障がいのある子等への支援の充実	①	障がいのある子のための「インクルージョン保育」の推進	「巡回支援事業」は、市内の認定こども園・幼稚園等のほか、学童クラブに訪問し、各機関のニーズに合わせて児童の行動観察を行い、関わり方の工夫や子どものとらえかたなどを助言しています。「保育所等訪問支援事業」は、児童発達支援センター在籍児童については認定こども園等に、肢体不自由をもつ学齢児については特別支援学級に職員が訪問し、児童の課題の情報共有や直接指導を行っています。	30	22	A	こども療育課
	②	児童発達支援センターの設置等による地域支援の充実	令和2年4月より、こども通園センターから児童発達支援センターに移行し、地域支援を充実させる機能を強化し、個々の発達状況に応じて専門的な療育支援を実施しています。さらに、保護者に対し、子育てへの助言等の家族支援のほか、研修会や親同士の集まりの場などを設けるなど、情報収集の場を提供しています。	8,817	6,148	A	こども療育課
	③	居宅訪問型児童発達支援事業の実施	未就学児、肢体不自由をもつ学齢児を対象に、重度の障害のために外出が著しく困難な場合、家庭訪問等により、身体機能及び精神の成長を促すための専門的な支援を行っています。			A	こども療育課
	④	特定教育・保育施設等の障がいのある子等の受け入れに対する支援	障がい児の保護者の就労等を支援するため、保育を必要とする障がいのある児童について、障害児保育補助事業により認定こども園及び保育所での受け入れを促進しています。（令和2年度：11施設46人）	46,428	45,486	A	こども政策課
	⑤	幼稚園における特別支援教育の促進	心身障がい児を就園させる幼稚園に対し、障がい児1人当たり年額5万円を補助しています。（令和2年度：6施設13人）	650	650	A	こども政策課
	⑥	小学校における特別支援教育・交流及び共同学習の充実	拠点校に設置してきた特別支援学級を、対象児童生徒が在籍する全ての小中学校への設置を目指し、空き教室等のある学校に設置拡充しているほか、研修等により教職員の専門性の向上を図り、個別の教育的ニーズに応じた指導体制の充実に努めています。	2,112	870	A	学校教育課
	⑦	学童クラブにおける障がいのある子の入所の推進	17か所の学童クラブにおいて障がいのある児童の定員を「若干名」として受け入れを実施しています。（令和2年度：11施設、26人）	580	219	A	子育て総合支援センター
	⑧	特別児童扶養手当等制度の実施	身体や精神に障がいのある満20歳の児童を対象とし、4月、8月、11月の年3回の定期振込について、手続きを受け、支給の確認を行っています。また、関係機関と連携し、制度周知に努めています。	0	0	A	こども家庭課
	⑨	重度心身障害者医療費助成事業の実施	身体障害者手帳1級、2級及び内部障害3級の方、療育手帳A判定の方、精神保健福祉手帳1級の方に対して、医療費受給者証を交付し医療費の助成を行っています。 小学校就学前の児童及び住民税非課税世帯には全額助成（初診時一部負担金を除く。）、住民税課税世帯の小学生以上の方には2割助成、精神障がいの方には通院に対してのみ助成を行っています。（令和2年度末受給者数：1,681人）	121,639	118,894	A	国保医療課
	⑩	障害福祉サービスの実施	障がいのある方やその家族が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、障害福祉サービス(自立支援給付)や地域生活支援事業の提供体制の確保に努めます。引き続き、サービス提供体制の確保のため、「千歳市障がい者地域自立支援協議会」を中心に障害福祉サービス事業者など関係機関と連携強化を図りながら実施していきます。	2,306,055	25,091	B	障がい者支援課
(5) 子育て家庭への経済的支援の充実	①	児童手当制度の実施	中学校修了までの児童を対象とし、6月、10月、2月の年3回、4か月分の定例振込を実施し、6月の現況届の提出により支給継続の確認を行っています。	1,058,083	1,051,077	A	こども家庭課
	②	特定教育・保育施設等の保護者の負担軽減の拡充	子ども・子育て支援新制度施行後の特定教育・保育施設等の利用に関わる保護者負担については、応能負担により保護者の所得階層に応じた基準額の設定が示されていますが、市は、独自の財源投入により、国の基準額をさらに超える保護者の負担軽減を実施しています。	117,373	117,373	A	こども政策課
	③	幼稚園を活用した子育て支援としての2歳児受入事業の実施	私立幼稚園等就園奨励費補助金（幼稚園を活用した子育て支援としての2歳児の受入れ）により保護者の経済的負担を軽減しています。	12,619	9,493	A	こども政策課
	④	就学援助制度の実施	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品や給食費などの一部を助成し、必要な就学支援を行っています。	149,582	133,176	A	学校教育課
	⑤	特定教育・保育施設等が徴収する副食費の助成事業の実施	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業を利用する児童の保護者に対し、保護者の世帯所得状況等により、保護者が負担すべき給食費（副食費）を免除し、市から施設へ支出する運営費負担金の副食費徴収免除加算として給付しています。	0	0	A	こども政策課

※実施状況

A:達成・実施 B:達成に近い・大半を実施
C:未達成に近い・僅かに実施 D:未達成・未実施

実施	⑥	乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業の実施	有料ごみ袋を3歳未満の乳幼児を養育している世帯へ配布し、パンフレットの同封を実施しています。（令和2年度支給世帯：2568世帯/2571世帯）	3,052	2,548	A	こども家庭課
	⑦	不妊治療費・不育症治療費助成事業の実施	健康保険が適応されていない不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、特定不妊治療および一般不妊治療の費用の一部を助成しております。（令和2年度利用件数：特定不妊治療73件　一般不妊治療28件　不育症治療1件）	5,985	3,516	A	母子保健課

※実施状況

A:達成・実施　B:達成に近い・大半を実施
C:未達成に近い・僅かに実施　D:未達成・未実施

基本目標5 人口10万人のまちづくりを目指す「子育てするなら、千歳市」の推進

施策	番号	取組項目	主な取組内容や課題等	R2予算額 (千円)	R2決算額 (千円)	実施 状況	担当課
(1) 子育てしやすいまちづくりを通じた人口増の推進	①	もう1人子どもを生み育てたいと思える施策の展開	子どもを産み育てたいと望む家庭が、理想とする子どもの数を産むことができる社会の実現を目指すとともに、子育て世代から選ばれる子育てにやさしいまちづくりを推進するため、「子育てするなら、千歳市」の子育て支援施策の充実・強化に取り組みます。	0	0	A	こども政策課
	②	「子育てするなら、千歳市」のブランディングの推進	子育て情報SNS「ママからnet.」を通じて、市内外に千歳市の魅力を広く発信するとともに、市民協働事業として「子育てするなら、千歳市」PR動画を制作し、youtubeで全国に向けて動画発信を行いました。 今後も”子育て世代に選ばれるまち”を目指し、子育て環境の変化と時代の潮流を踏まえ、効果的なブランディング事業を検討し、魅力のある情報発信に努めます。	557	523	A	こども政策課
	③	「ランドセル来館」事業の推進(再掲)	(再掲)	—	—	—	子育て総合支援センター
	④	ちとせ子育て特典カード事業の推進(再掲)	(再掲)	—	—	—	こども政策課
	⑤	子育てに関する総合情報発信の拡充(再掲)	(再掲)	—	—	—	こども政策課
	⑥	ちとせ版ネウボラ(こども・妊婦ネウボラ)の充実(再掲)	(再掲)	—	—	—	母子保健課
	⑦	特定教育・保育施設の充実(再掲)	(再掲)	—	—	—	こども政策課
	⑧	「いいお産の日inちとせ」の実施(再掲)	(再掲)	—	—	—	こども政策課・子育て総合支援センター
	⑨	「ちとせ子育てコンシェルジュ」事業の推進(再掲)	(再掲)	—	—	—	子育て総合支援センター
	⑩	「転入親子ウェルカム交流ツアー」の実施(再掲)	(再掲)	—	—	—	こども政策課